

成人式会場

藍住町 議会だより

12月定例会

議会の新構成・・・・・・・・・・P. 2～3
平成29年度一般会計・特別会計補正予算・・・P. 5
一般質問 ～町政のことが聞きたい～・・・P. 6～8
わたしの一言・議会のうごき・・・・・・・・P. 10

第92号

平成30年2月25日

発行●藍住町議会

編集●議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野字矢上52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

議会の新構成

12月11日に議長選挙及び副議長選挙が行われ、新たな正副議長が決定しました。
また、この改選に伴い、委員会構成の一部変更、一部事務組合等議会議員の改選が行われました。

第41代議長 **奥村 晴明氏**

第40代副議長 **永濱 茂樹氏**

【議長 奥村 晴明氏の略歴】

平成4年2月初当選。6期目。

第33代議長、第32代副議長、総務常任委員会委員長、厚生常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

【副議長 永濱 茂樹氏の略歴】

平成12年2月初当選。5期目。

第36代議長、厚生常任委員会委員長、総務文教常任委員会委員長、特別委員会の委員長などを歴任。

議長就任のご挨拶

議会議長 **奥村 晴明**



議長
奥村 晴明



副議長
永濱 茂樹

12月議会定例会において、第41代藍住町議会議長に就任させていただくことになりました。誠に光栄に存じますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いでございます。

国内景気は、各種政策の効果もあつて、緩やかな回復に向かうことが期待されるものの国・地方ともに財政状況は依然として厳しい状況にあり、本町では町民の皆様のご理解、ご協力を頂きながら町を挙げて行財政改革に取組、効率的な行政運営と財源確保に努めてまいりました。

こうした中ではありますが、防災対策をはじめ、少子高齢化への対応、教育・文化の向上、福祉の充実、生活環境の整備など、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

議会の円滑な運営はもとより、多様化する住民のニーズに応えるよう執行機関と議会が一体となって藍住町の発展と住民福祉の向上を目指し、職責を全うする所存でございます。今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶いたします。

議会運営委員会

委員長 佐野 慶一
副委員長 徳元 敏行
委員 林 茂
委員 安藝 広志
委員 鳥海 典昭
委員 矢部 幸一

常任委員会

総務文教常任委員会

委員長 矢部 幸一
副委員長 徳元 敏行
委員 林 茂
委員 西川 良夫
委員 森 彪
委員 永濱 茂樹

建設産業常任委員会

委員長 鳥海 典昭
副委員長 佐野 慶一

委員 喜田 修
委員 古川 義夫
委員 平石 賢治

厚生常任委員会

委員長 安藝 広志
副委員長 森 志郎
委員 小川 幸英
委員 西岡 恵子
委員 奥村 晴明

特別委員会

藍住町総合文化ホール 特別委員会

委員長 森 志郎
副委員長 安藝 広志
委員 小川 幸英
委員 林 茂
委員 鳥海 典昭
委員 徳元 敏行
委員 森 彪
委員 平石 賢治
委員 佐野 慶一

防災対策特別委員会

委員長 平石 賢治
副委員長 鳥海 典昭
委員 古川 義夫
委員 小川 幸英
委員 安藝 広志
委員 矢部 幸一
委員 西川 良夫
委員 森 志郎
委員 永濱 茂樹

議会だより編集委員会

委員長 徳元 敏行
副委員長 西岡 恵子
委員 林 茂
委員 鳥海 典昭
委員 森 志郎

議会改革調査特別委員会

委員長 西川 良夫
副委員長 安藝 広志
委員 喜田 修
委員 古川 義夫
委員 小川 幸英

一部事務組合等 議会議員

委員 林 茂
委員 鳥海 典昭
委員 矢部 幸一
委員 徳元 敏行
委員 西岡 恵子
委員 森 彪
委員 平石 賢治
委員 森 志郎
委員 佐野 慶一
委員 永濱 茂樹

板野西部青少年 補導センター組合議会

奥村 晴明
永濱 茂樹

徳島県後期高齢者 医療広域連合議会

永濱 茂樹
(敬称略)



消防出初め式祝賀放水の様子



成人式で祝辞を述べる奥村議長

12月議会定例会が12月11日から22日までの12日間の会期で開会され、
下記の議案について審議しました。
一般質問では3人の議員が登壇し、町政について質問しました。

12月定例会

～町長提案～

- 平成29年度藍住町一般会計補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算 原案可決
- 平成29年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算 原案可決
- 藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正 原案可決
- 藍住町水防団に関する条例の制定 原案可決
- 徳島県市町村総合事務組合規約の変更 原案可決
- 藍住町副町長選任の同意 奥田浩志氏

～議員提案～

- 特別委員会の名称変更 原案可決
 藍住町総合文化ホール特別委員会へ名称変更
- 道路財特法における補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書 原案可決

提 出 者 鳥海 典昭議員

提 出 先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・国土交通大臣

「道路財特法における補助率等の 嵩上げ措置の継続を求める意見書」を提出

(概要)

現在、国においては、「道路財特法」の規定により、地域高規格道路や交付金事業の補助率等の嵩上げを実施し、道路整備に対し格別の配慮がなされている。

しかしながら、本法は平成29年度までの時限措置であり、来年度以降、補助率等が実質的に低減されることは、真に必要な道路整備の停滞を招き、全力を挙げて取り組んでいる地方創生及び国土強靱化の実現に大きな影響を与えることが懸念されるところである。

よって、国におかれては、地方の道路整備を引き続き強力に推進するため、道路関係予算の所用額の確保はもとより、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続するよう強く要望する。

平成29年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

3億2,200万円増額

予算
総額

103億2,500万円

～主な補正の内容(1万円未満四捨五入)～

総務費

- ◆(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業費
(緑の広場跡地地中物処理工事) 4,000万円

民生費

- ◆後期高齢者医療費療養給付費 1,632万円
- ◆医療介護提供体制改革推進事業費 1,801万円
(地域密着型特別養護老人ホーム開設準備補助金)
- ◆障害福祉サービス等給付費 4,400万円

衛生費

- ◆西クリーンステーション管理費 1,450万円
(1号炉内耐火物補修工事)

教育費

- ◆小学校総務費 2,300万円
(南小学校屋外トイレ等改修工事)
- ◆給食調理加工費 1,236万円
(原材料の高騰により)

平成29年度特別会計補正予算

会 計 名	補 正 前 の 額	補 正 額	補 正 後 の 額
国民健康保険事業	39億3,400万円	1億2,278万円	40億5,678万円
介護保険事業	24億5,000万円	1億150万円	25億5,150万円
介護サービス事業	1,250万円	△530万円	720万円
後期高齢者医療事業	3億300万円	2,040万円	3億2,340万円

～平成29年 第2回 臨時会～

11月27日開催の臨時会において次の議案が上程され、原案のとおり可決した。

- 平成29年度藍住町一般会計補正予算の専決処分(※1)の報告と承認 原案可決
歳入歳出1,300万円を増額し、予算総額を100億300万円とする

※1 専決処分とは？ (地方自治法第179条)

町長が議会を招集する時間的余裕がない場合に町長が議会に代わって、議会が議決すべき条例・予算などの案件を処理すること。

町長が専決処分をした場合は、次の会議においてこれを議会に報告し、承認を求めなければならない。

- 職員の給与に関する条例の一部改正 原案可決
人事院勧告及び徳島県人事委員会勧告に基づき、給料表については約0.2%、勤勉手当については、年間の支給月数を0.1月分引き上げる改正

汚水処理事業は合併浄化槽設置を優先に

下水道全体計画や汚水処理構想に基づき事業を進める



林 茂 議員

問 阪神淡路大震災では公共下水道の復旧に575億円、東日本大震災の被害額は3195億円、熊本地震では331億円。藍住町第1期下水道事業に投入した公費は23億5700万円で、合併浄化槽は5億3700万円。1基当たりの金額は合併浄化槽が30万円。公共下水道は580万円で合併浄化槽の約19倍も高い。工期が短く、単価は安い、災害に強い合併浄化槽に切り替えることを要望。

答 公共下水道と合併浄化槽の経済比較を行い、費用対効果の観点から現在進めている。これまでの震災を教訓として、震災対策を考慮し、現在できる最善の対策を講じていきたい。

5年間のごみの排出量の推移及び
町民一人当たりの排出量

年 度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
人口(人)	33,858	34,225	34,501	34,862	34,905
燃やせる ごみ(t)	5,949	5,851	5,978	5,965	5,808
資源ごみ(t)	2,480	2,441	2,399	2,289	2,233
粗大ごみ(t)	163	183	184	196	207
燃やせない ごみ(t)	115	98	104	100	107
一人一日 当たり(g)	863	851	850	828	817
事業系直接搬入 燃やせるごみ (t)	1,964	2,069	2,036	1,990	2,055

答 排出量の推移については別表参照。

また、認知症の方には介護者の方と協議しながら支援をしていきたい。

問 ごみ排出量の推移と1人当たりのごみ出し量は。また、資源ごみの販売収益は。

答 平成28年度の収益は1185万6千円。

問 高齢者や認知症の方は、ごみの分別やごみ出しで困っているが支援策は。

問 ごみ袋の有料化が2007年9月より実施され、ごみ袋の大きが1枚35円。2011年4月から25円に値下げされたが、ごみ袋の収益は。

資源ごみの平成28年度収益は654万9384円。

学校教育について

教員の負担軽減に取り組んでいる



答 全学校のトイレ383基のうち121基について洋式化が完了し、洋式化率は32%。今後の年次計画については、交付金などの財源や予算編成との関連もあり、現時点では具体的な計画は作成できていない。

問 学校トイレの洋式化の状況と今後の年次計画は。

答 部活動に関するアンケート調査は行っていない。各中学校では、部活動休止日や短縮部活動の日を設け、教員の負担軽減に取り組んでいる。現在、タイムカードの設置はしていない。

問 今、教員の働き方が社会問題になっている。2016年度の文科省調査では、教員の1日当たり平均勤務時間は小中学校で11時間を超えている。町教委は部活動に関する教員へのアンケート調査をしているのか。また、労務管理でタイムカードは設置しているのか。

子育て支援について 児童館の駐車場整備を考える



小川 幸英 議員

問 新婚世帯、子育て世帯に対して住宅取得の助成をすべきと思うが。

答 一定の世代に限定すること、公平性の観点から、慎重な検討が必要。

問 学校と児童館の連携はどうしているのか。

答 行事予定表や学校からのメール等で下校

時間や年間行事を確認しており、放課後児童クラブに入会している児童の情報は、必要に応じて学校と情報交換している。

問 各児童館には5台以上止められる駐車場があるが住吉児童館にも駐車場を増設すべきだ。

答 駐車場の整備について今後計画したい。



駐車スペースのない住吉児童館

商工業農業振興について 商工会と連携し創業支援を行っている

問 町として商工会や商工業者に対して独自の支援策を考えているか。

答 商工会が実施している「創業塾」を卒業した後に町内で創業された方には、町から補助金の創業支援等を行っている。

問 地域振興プレミアム商品券藍プラスカードを景気対策として復活してはどうか。

答 商工会と十分協議をしながら検討。

問 中小企業向けの融資制度セーフティネット資金の信用保証料0.3%を町で負担してはどうか。

答 利子補給ということではなく、がんばる商工業者に対する支援策を進める。

問 農業後継者対策新規補助金や取組の成果は。また、農地の賃貸借料支援、経営支援、安定化支援、機械整備支援等があるが現在の状況と今後の取組は。

答 青年等就業計画を作成し、新規就農者に認定されると、機械等の取得に活用できる無利子の青年等就業資金や、農業次世代人材育成資金が受けられる。

交通安全対策について 関係機関と検討していく

問 停止線や横断歩道が消えかかって見づらい箇所については、担当者が現地を確認し、板野署を通じて公安委員会へ改善を要望しているとのことであつたが、半年たっても改善されていない所がある。

答 早期に改善されるよう、要望活動を更に進める。

問 江ノ口新居須線歩道改修について、具体的な対策はできたのか。

答 今年度は、道路併設の排水路に蓋掛けをすることで、歩道の幅員を拡幅し、同時にフラット構造へ転換することが可能な区間の選定と、工事に向けた設計を進めている。

問 ゆめタウン周辺は休日ともなるとゆめタウン渋滞と言われるぐらい渋滞が起きている。交通渋滞対策はどのようにしているか。

答 既存の道路区域に対して、交通管理者等の関係機関と検討していく。

その他の質問

○空き家対策について

高橋町長の「未来への挑戦」について

魅力的なまちづくりを進める



西岡 恵子 議員

問

町長は、住民の期待を裏切ることなく二元代表制、対等な立場でより良い町政を築きたい。昭和40年頃から発展してきた町に少し陰りが感じられる。これを転換期と捉え、魅力あるまちづくりに向ける。その施策については、来年3月議会以降に適宜具体化する旨述べられました。未来への挑戦、魅力あるまちづくりへの抱負・意気込みについて尋ねます。

答

待機児童の解消や学童保育の充実など、安心して子育てができる環境整備を十分に進めていく必要がある。また、高齢者への支援や、自助・共助を中心とした防災対策についても進めていく。様々な分野において、住民の皆さんや議会の皆さんの意見を十分に取り入れながら、魅力的なまちづくりに取り組む。

携帯電話、スマートフォン等の安全・適正な使用について

正しいマナーやルールで使用するよう学習、啓発を行っている

問

携帯電話やスマートフォン使用において様々な問題が発生。本町の小中学校で、自分の携帯電話やスマートフォンを持っている割合と、その使用状況。また、視力低下もあるようですがその現状は。今年8月には中学生のネット上でのなりすまし事件も起きています。トラブルや事件に巻き込まれない早急な取組が必要。

答

割合については別表参照。全国平均を上回っている状況である。学校の保健委員会において、今年は眼科の先生に視力低下の原因や、予防についての研修を計画しております。学校では、毎年、携帯電話、スマートフォン等の安全教室を開催し、トラブルに巻き込まれたり被害にあった実例を挙げて、正しいマナーやルールで使用するよう学習、啓発を行っている。また、個人面談などの様々な機会を捉えて、保護者にも適正な使用を呼び掛けている。

子どもはぐくみ医療費助成制度の対象年齢拡大

今後の財政状況を見ながら前向きに検討

問

本町では既に中学校修了まで助成していますが、県において制度拡大され、本年度から県下全域で中学校修了以上となりました。県内の11市町村では、既に18歳に達する年度末まで助成しています。本町でも18歳に達する年度末までの助成を求めます。

答

財政的に大きな負担となるため、今後の財政状況を見ながら前向きに検討。

自分の携帯電話、スマートフォン等を持っている

1年生	28%
2年生	36%
3年生	45%
4年生	52%
5年生	59%
6年生	56%

中学1年生	58%
中学2年生	67%
中学3年生	76%

1日3時間以上使用している

6年生	8%
-----	----

中学3年生	20.5%
-------	-------

議員研修報告

(仮称)藍住町文化ホール等複合公共施設 建築工事の現場視察を実施

11月27日、臨時会終了後、全議員で現場視察を実施。西松建設株式会社の方から進捗状況と今後の予定について説明を受けました。



町村議会議長全国大会

11月22日、町村議会議長全国大会が東京都(NHKホール)で開催され、森志郎前議長が参加。

大会では、地方議員のなり手不足が深刻化しているとして、国に人材確保を求める重点要望が採択されました。



陳情

3件の陳情があり、議員に配布しました。
● 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い

陳情者 一般社団法人徳島県設備業協会
会長 栗本 利幸

● じん肺・アスベスト被害根絶を求める陳情書
陳情者 2017年第28回なくせじん肺
全国キャラバン徳島実行委員会
会長 山本 正美

● 「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を国の責任で創設するための意見書採択に関する陳情書
陳情者 徳島県社会保障推進協議会
会長 井上 尚

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は3月です。
(定例会日程については3月1日からホームページで掲載予定です。そちらをごらんください。)

次号は5月に発行します。

詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政に関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
- ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③ 字数は500字以内。
- ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

わたしの一言

勝瑞 胡田 俊一さん

～お年寄りにやさしいまちづくりを～

藍住町に移り住んで40年が過ぎ、周囲の風景も大きく変わった。田畑が少なくなり住宅地が増えている。散歩をしていて空き家が多くなったように思う。(町の調べでは約450戸)都会へ出た子供が亡き親元に帰らないからと聞く。

私が藍住に来た頃の平均年齢は30歳前後だったと思う。ところが今では、人口35,000人を超え、平均年齢も43歳。藍住町も御多分に漏れず高齢化社会の仲間入りをしようとしている。

『花と緑と太陽の町』が藍住町のキャッチフレーズだという。総合計画の中に「きもち・いきいき・藍住」というフレーズがある。福祉の町の充実を目指そうというものだ。

藍住町はゆめタウンなどの大型店舗を誘致し、町財政も潤っていることだろう。

高齢化社会に向かう藍住町にとって、お年寄りに住み良いまちづくりを目指してほしい。



議会のうごき

11月

2日 議会だより編集委員会

11日 藍住町戦没者追悼式

20日 地方自治法施行70周年記念式典(東京都)

21日 議長研修(埼玉県)

22日 町村議会議長全国大会(東京都)

27日 第2回臨時会

(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会

28日 板野郡町議会議長会定例会

(北島町) 議会運営委員会

29日 全国議長会中間監査

(東京都)

11日 12月議会定例会開会

(仮称)藍住町文化ホール・公共施設複合化事業特別委員会

13日 藍翠苑祭

19日 12月議会定例会一般質問

22日 12月議会定例会閉会

12月

1月

25日 板野西部青少年補導センター組合議会定例会(板野町)

26日 板野東部消防組合議会臨時会

(北島町)

7日 藍住町成人式

9日 板野郡町議会議長会臨時会

10日 鳴門市正副議長就任挨拶来庁

18日 板野東部消防組合消防出初め式(北島町)

25日 徳島県町村議会議長会臨時会

31日 徳島市) 議会改革調査特別委員会

市町村トップセミナー

初登庁 町政への決意を胸に高橋英夫町長



編集後記

「一年の計は元旦にあり」と言われますが、私の活動の原点は「戦争と貧乏をなくす」であった。安倍首相は4日の年頭会見で「新しい時代への希望を生みだすような憲法のあるべき姿を国民にしっかりと提示する」と明言しました。しかし、9条への自衛隊明記により戦力不保持の規定が空文化し、軍備増強に歯止めがかからなくなります。軍事力をいくら増強しても国民の命や生活は守れません。軍事力では国民を守れないことは、戦争を経験した世代の人たちはよく知っており、私もその一人です。戦争から平和は生まれません。

(林 茂)

議会だより編集委員会

委員長 徳元 敏行
副委員長 西岡 恵子
委員 林 茂
委員 鳥海 典昭
委員 森 志郎